



2023年4月4日
掛川営業所 配電建設課
検査

4月4日発生 太陽光申込におけるしゅん工調査前 計器焼損事象について

1. 日時 2023年4月4日 14:00頃
2. 場所 掛川市 大坂地内 電柱番号：58ウ031
3. 契約者名 申込内容
株式会社 ○○
電灯 太陽光発電50kVA、定額0.5kVA
4. 電気工事店 △△電気 工事店ランクB

5. 経緯

3月2日	△△電気工事店は計器取付、引込口幹線工事を完了した。(付託連絡票記事より)
3月16日	掛川引込工事センターは引込工事(支持点接続含む)を施工した。(引込口装置まで充電)
3月31日	代行送電で送電(連系)
4月4日	△△電気工事店へ、(株)○○様より、通常通り連系していない旨の連絡があった。
13:00	△△電気工事店は、現場調査を実施し、計器が焼損していることを確認した。
13:10	△△電気工事店は、契約課に事象報告を行った。
13:15~	契約課は、検査担当へ事象報告し出向調整したが、検査員は検査指定があり出向不能であった。
13:45	契約課は、配電運営課 応需Gへ引込線の柱上縁切りを依頼した。
13:55	検査副長は、250Aの短絡事象も疑われるため、現場へ出向した。
14:00	契約課 担当者は△△電気工事店へ柱上縁切りの手配がついたことを伝達した。
14:00~	△△電気工事店は、当社が到着するまでの間、活線で引込口幹線を1相づつ切断、テーピングにより絶縁処理し、計器外しを行なった。
14:30	検査副長は現着 △△電気工事店と立ち合いの上事象を確認した。 施工中の短絡ではなく、一次側3S端子の締付け不足により、発熱し計器が焼損した。 250A単独計器を活線で外したことに對して、嚴重に注意した。 短絡のリスク、変圧器焼損リスク、配電線故障リスクを伝えた。 契約課担当者へ連絡し、焼損計器の扱い、代替計器の予告について確認した。 焼損計器は持ち帰る 代替計器の倉出予定4月6日 △△電気工事店と切離箇所を調整し、第一支持点PJで切離すこととした。
14:50	応需班が現地到着し、第一支持点PJで切離を実施した。 ※しゅん工調査は計器再取付を待って調整する。

6. 添付資料

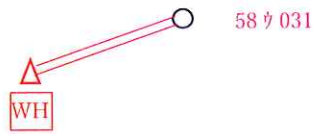
- ・ 引込内線工事票 (電気工事店用) 計器工事、(引込工事センター用) 引込線工事
- ・ 現場写真・引込および内線図面

現場写真



引込図面

3 8 □DV³ × 2 回線



引込口配線

